



2021年8月6日

各位

会社名 株式会社 C & G システムズ  
代表者名 代表取締役社長 塩田 聖一  
(コード：6633 東証第二部)  
問合せ先 取締役管理統括部長 小島 利幸  
(TEL. 03-6864-0777)

## 第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2021年2月12日に公表いたしました2021年12月期第2四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

### 記

1. 2021年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異(2021年1月1日～2021年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	1,817	90	102	56	5.92円
今回実績(B)	1,925	191	243	160	16.87円
増減額(B-A)	+107	+101	+140	+104	
増減率(%)	+5.9	+111.5	+137.5	+185.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年12月期第2四半期)	1,976	140	96	34	3.64円

2. 第2四半期累計期間の連結業績予想数値と実績数値との差異の理由

2021年第2四半期累計期間は、年初においては、新型コロナウイルス感染症(以下、「コロナ」という。)のワクチン接種の見通しが立たない中、感染拡大による緊急事態宣言再発令もあり、引き続きコロナの影響を受け営業活動が停滞することを見込んでおりました。しかしながらコロナの影響により長期間抑制されていた製造業の設備投資が想定以上に持ち直したことから、主に国内CAD/CAMシステム事業が堅調に推移した結果、売上高は1億7百万円、当初計画を上回りました。利益面については売上高の増加に加え、イベントのオンライン化および一部営業訪問の制限継続等により販管費が抑制されたことなどから、営業利益は1億1百万円、経常利益は1億40百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億4百万円、それぞれ当初計画を上回りました。

なお本年度下期以降については、国内製造業はさらなる回復が見込まれているものの、8月末以降に採択時期が到来する製造業向け政府補助金の採択動向およびコロナの再拡大、国内外における半導体不足の影響等も懸念され、当社の対象市場において先行き不透明感が拭えない状況が継続していることから、通期業績予想数値については据え置きとさせていただきます。今後の情勢を鑑み修正が必要な場合には速やかに開示します。

以上